平成２６年度　　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	Ⅱ	地域に根ざした魅力ある学校づくり
目標		地域に根ざした特色ある教育活動を進め、開かれた学校づくりに努める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	一斉公開参観日の参加率	%	21	13.0	22.7	27.9	30.7	25.9	－	33.0
指標②	学校開放事業の利用者数	人	34,983	25,248	26,505	24,845	26,715	24,296	－	35,000
指標③	地域との交流件数	回	36	14	25	15	30	21	－	40

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　特色ある教育活動の推進	①　時代の変化に伴う教育課題への対応	・新しい教育課題の調査研究を進めるとともに、ALT（外国語指導助手）の活用や情報機器を活用した授業の充実など、国際化・情報化等に対応した教育活動を推進します。
1-②	1　特色ある教育活動の推進	②　総合的な学習の時間の充実	・総合的な学習の時間の全体計画や各学校のねらいを明確にし、地域や学校の特色に応じた学習活動の一層の充実を図ります。
1-③	1　特色ある教育活動の推進	③　体験活動の充実	・学校・家庭・地域・関係機関との連携を深め、自然・環境・人とのかかわりを通した自然体験活動・社会奉仕体験活動などの体験活動の充実を図ります。
1-④	1　特色ある教育活動の推進	④　情報機器の効果的な活用	・登別市教育情報センターを中心に、情報教育推進協議会を通して、情報機器のより効果的な活用に関しての調査研究を行います。
2-①	2　開かれた学校づくりの推進	①　学校公開や地域交流の推進	・参観日、学校公開、学校行事等を通して、地域に信頼される学校づくりを推進するとともに、学校・家庭・地域とが交流する機会を通し連携を深めます。
2-②	2　開かれた学校づくりの推進	②　地域・家庭との連携促進	・家庭・地域へ学校からの説明責任を十分果たし、子どもたちの成長を温かく見守ることのできる地域の連携協力体制づくりを進めます。
2-③	2　開かれた学校づくりの推進	③　地域の教育力の活用	・保護者や地域と連携し、図書館ボランティアやゲストティーチャーなどのボランティアの活用を促進し、地域の人材を積極的に活用します。
2-④	2　開かれた学校づくりの推進	④　学校評議員、学校評価の活用促進	・学校評議員の活用を図り、自己評価・外部評価等による学校評価を促進し、学校運営の工夫改善に努めます。
3-①	3　教育環境の充実	①　児童生徒の安全確保	・児童生徒の通学における安全確保に努めるとともに、安全な環境で学校生活を過ごせるよう、各学校の耐震化など施設設備の状況を把握し、計画的な整備の充実に努めます。
3-②	3　教育環境の充実	②　安心で衛生的な教育環境の充実	・薬剤師による学校環境検査を定期的に実施するほか、学校保健委員会を中心に衛生的な教育環境の整備に努めます。
3-③	3　教育環境の充実	③　特別支援教育体制づくり	・校内委員会の設置やコーディネーターの指名、個別の支援計画の作成等、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を進めます。 ・特殊教育学校、児童相談所等の各関連機関、特殊教育振興協議会等の各種団体との連携を図り、特別支援教育の充実に努めます。
3-④	3　教育環境の充実	④　教員の資質の向上	・各学校の研修の充実を図るため、登別市教育実践研究奨励校の指定を促進するとともに、登別市教育研究会との連携を図り指導方法等の向上に努めます。また、教職員研修会などへの参加を促進し教員の資質の向上に努めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-①	外国青年招致事業	教育委員会	学校教育G	H2	－	ソフト	一般会計	英語を使ったコミュニケーション能力の育成により、国際化社会で活躍することができる人材を育てることを目的とする。	H24	小・中学生（学校教育法）、市民	小学校での外国語活動や中学校での英語指導を通じて、英語を使ったコミュニケーション能力育成のため、ネイティブスピーカーとして外国人英語指導助手（以下、ＡＬＴ）を各学校に週１回以上派遣した。また、市民を対象とした英会話教室により国際交流の推進を図った。 【配置人数】４名（小学校２名、中学校２名） 【ＡＬＴの活動】小学校での外国語活動（計391日）、中学校での英語指導（計380日）、市民対象の英会話教室（20回）、地域住民との交流、地獄祭りへの参加等	学校教育法、招致外国青年任用規則、語学指導等を行う外国青年招致事業実施要綱、語学指導等を行う外国青年招致事業募集要項
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
		52211001											
2	1-②	特色ある学校づくり推進経費	教育委員会	学校教育G	H15	－	ソフト	一般会計	総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進し、地域の特性を活かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。	H24	小・中学生	総合的な学習の時間や生活科等を通して、次のとおり各学校の特色ある学校づくりを推進した。 ・登別温泉地区の旅館やホテルで温泉入浴の体験を行い、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学を実施。（各小学校３年生・８校455名） ・地域の自然や環境、人材を活用し講師講演（小学校８件）、野外体験学習（小学校）、職場体験学習（中学校）を実施。 ・動物の飼育や学校菜園の実施（各小学校１・２年生を対象に花いっぱい運動一年草購入、８校48ケース）	小学校・中学校学習指導要領
										H25	上記のとおり	上記のとおり ・登別温泉地区の旅館やホテルで温泉入浴の体験を行い、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学を実施。（各小学校３年生・８校378名） ・地域の自然や環境、人材を活用し講師講演（小学校６件）、野外体験学習（小学校）、職場体験学習（中学校）を実施。 ・動物の飼育や学校菜園の実施（各小学校１・２年生を対象に花いっぱい運動一年草購入、８校43ケース）	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
		52212001											

NO	事業の成果、目標：指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標
1	授業実施日数	日	391	391	390	390	390	390
	－	－	－	－	－	－	－	－
2	市内小中学校数	校	13	13	13	13	13	13
	登別温泉入浴体験者数	人	455	378	384	384	384	384

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

NO	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案
1	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	19,127	17,430	18,347	18,347	18,347	18,347
	合　計	19,127	17,430	18,347	18,347	18,347	18,347
2	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	3,607	3,608	4,530	4,530	4,530	4,530
	合　計	3,607	3,608	4,530	4,530	4,530	4,530

Check

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H24以前	ＡＬＴを２名から４名に増員、配置し、小学校での外国語活動や中学校での英語指導を通して、英語を使ったコミュニケーション能力の育成等、外国語教育の充実を図る。	維持	本事業の実施により、英語を使ったコミュニケーション能力の育成を図り、国際化社会で活躍することができる人材育成に資することから、今後も事業を継続することが相当である。
	H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		
	H26	上記のとおり		
2	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	総合的な学習の時間は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「小学校学習指導要領（第５章総合的な学習の時間）」及び「中学校学習指導要領（第４章総合的な学習の時間）」で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。
	H25	上記のとおり		
	H26	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
1	事業の継続を図り、国際理解や英語を使ったコミュニケーション能力の育成、外国人と積極的に関わろうとする態度の育成を図っていく。
2	産業や自然など地域の素材を活用したものづくりや社会体験・観察を通じて、児童・生徒の、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成を図っていく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H27以降】
3	1-②	スキー授業等推進事業	教育委員会	学校教育G	H23	－	ソフト	一般会計	冬のスポーツを体験する機会をつくることにより、冬期間の体力及び健康の維持増進を図っていくとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。	H24	主に小学５・６年生 ※登別小学校・青葉小学校は全校児童	各小学校５・６年生を対象に冬期間のスポーツとして、スキー及びスケートの推進を図り、スキー授業に必要なリフト代・スキーセットレンタル代、バスの借上げ料を負担した。 【スキー体験学習実績】幌別小学校（117名）、幌別西小学校（131名）、幌別東小学校（41名）、鷲別小学校（83名）、若草小学校（101名）、富岸小学校（171名） 【スキー授業】登別小学校（183名） 【スケート授業】青葉小学校（324名）	学校教育法	実施小学校数	校	8	8	8	8	8	8	国庫支出金							H24 以前	平成22年度から平成24年度まで登別小学校・青葉小学校（スケート授業を実施）モデル事業（スキー体験学習）として順次実施した。	維持	冬のスポーツを体験する機会をつくり、冬期間の体力及び健康の維持増進を図っていくために必要な事業である。	冬期間の体力及び健康の維持増進やを図っていくため、今後も継続して事業を実施していく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【スキー授業】幌別小学校（107名）、幌別西小学校（129名）、幌別東小学校（31名）、鷲別小学校（67名）、若草小学校（119名）、富岸小学校（172名） 登別小学校（304名） 【スケート授業】青葉小学校（339名）	上記のとおり								地方債							H25	平成25年度より、スキー授業として青葉小学校（スケート授業を実施）を除く、各小学校でスキー授業として実施した。			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		2,243	2,850	3,731	3,731	3,731	3,731	H26	上記のとおり			
		52212002																				合 計		2,243	2,850	3,731	3,731	3,731	3,731					
4	1-③	特別活動推進経費（小学校）	教育委員会	学校教育G	H14	－	ソフト	一般会計	集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。	H24	小学生（小学校学習指導要領）	各学校の特色や児童の発達段階などを踏まえ、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等に必要な物品等を購入した。	小学校学習指導要領	児童数	人	2,475	2,446	2,525	2,510	2,510	2,510	国庫支出金							H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「小学校学習指導要領（第６章特別活動）で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。	今後も集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図っていく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		239	238	248	248	248	248	H26	上記のとおり			
		52213001																				合 計		239	238	248	248	248	248					
5	1-③	特別活動推進経費（中学校）	教育委員会	学校教育G	H14	－	ソフト	一般会計	集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。	H24	中学生（中学校学習指導要領）	各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等に必要なバスの借上げや物品等の購入を行った。	中学校学習指導要領	生徒数	人	1,188	1,161	1,270	1,295	1,295	1,295	国庫支出金							H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「中学校学習指導要領（第５章特別活動）で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。	今後も集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図っていく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		2,153	1,942	2,440	2,440	2,440	2,440	H26	上記のとおり			
		52213002																				合 計		2,153	1,942	2,440	2,440	2,440	2,440					
6	1-③	自然体験学習推進経費	教育委員会	学校教育G	H14	－	ソフト	一般会計	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。	H24	小学５年生・中学１年生	ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行うために、児童・生徒の移動に必要なバスの借上げを行った。 【対象学年等】 各小学校５年生（参加児童数７校349名） 各中学校１年生（参加生徒数２校177名） 【内容】 ・１日目：自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習 ・２日目：周辺散策、昼食、帰校　等	学校教育法	体験学習実施回数（日帰り）	回	2	2	5	5	5	5	国庫支出金							H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	自然体験を通じて、教室では学ぶことができない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができるため、市が事業を行うことは妥当である。	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することによる児童・生徒の社会性・自主性を育むため、今後も継続して実施していく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【対象学年等】 各小学校５年生（参加児童数７校315名） 各中学校１年生（参加生徒数２校201名） 【内容】 ・１日目：自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習 ・２日目：周辺散策、昼食、帰校　等	上記のとおり								地方債							H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H26	上記のとおり	今年度から富岸小学校（５年生）も加わり、小学校８校、中学校２校で上記のとおり実施予定。	上記のとおり	体験学習実施回数（宿泊）	回	7	7	8	8	8	8	一般財源		567	521	817	817	817	817	H26	富岸小学校は、平成25年度まで洞爺少年自然の家を利用していたが、施設の老朽化による閉鎖に伴い、平成26年度からネイチャーセンターを利用する予定。			
		52213003																				合 計		567	521	817	817	817	817					
7	1-④	小中学校情報教育推進事業費	教育委員会	学校教育G	H12	－	ソフト	一般会計	パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することにより、情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。	H24	小・中学生及び教員	教職員のパソコンを各小中学校に配置した。 平成24年度購入分（債務負担行為設定） 教職員用ＰＣ　　78台	学校教育法	小学校パソコン台数 ※１校あたり25台	台	200	200	200	200	200	200	国庫支出金							H24 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	ＩＴネットワーク社会に生きる子どもたちに、必要な資質を養う事業として重要である。	家庭においてパソコン等の情報通信機器を有しない子どもたちにとっては、情報通信技術（ＩＴ）に触れる貴重な機会であり、子どもたちへの情報教育は欠くことのできない教育であり、今後においても情報教育の推進及び充実を図っていく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	小中学校の児童・生徒用のパソコンを各小中学校に設置した。 平成25年度購入分（債務負担行為設定） 小学校児童用ＰＣ　　50台 中学校生徒用ＰＣ　　82台 イントラネットワーク機器　14台	上記のとおり								地方債							H25	上記のとおり			
														中学校パソコン台数 ※１校あたり41台（平成26年度分から緑陽中学校のみ42台）	台	205	205	206	206	206	206	その他											
										H26	上記のとおり	小中学校の児童・生徒用及び教職員・事務員用パソコンを各小中学校に設置した。 平成26年度購入分（債務負担行為設定） 小学校児童用ＰＣ　　158台 中学校生徒用ＰＣ　　150台 教職員用ＰＣ　　150台 事務用ＰＣ　　15台	上記のとおり								一般財源		17,308	18,270	38,930	37,246	33,906	29,330	H26	上記のとおり			
		52214001																				合 計		17,308	18,270	38,930	37,246	33,906	29,330					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H27以降】
8	2-②	ＰＴＡ連合会助成金 52222002	教育委員会	社会教育Ｇ	Ｓ62	－	ソフト	一般会計	研修活動や単位ＰＴＡの連携協力等の事業を実施するＰＴＡ連合会を支援することにより、子どもたちが豊かな人間性を育むことを目的とする。	H24	登別市ＰＴＡ連合会会	市内の小中学校及び高校のＰＴＡで構成される登別市ＰＴＡ連合会に対し助成金を交付した。 【事業内容】 研究大会の開催、教育懇談会・交流会の開催、母親研修会の開催、広報誌の発行等	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	研修会等開催回数	回	3	5	4	4	4	4	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合 計	 300 300	 300 300	 300 300	 300 300	 300 300	 300 300	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	地域の教育力の向上や学校教育の充実を図るためには、保護者と教員の連携は不可欠であり、その母体となっている登別市ＰＴＡ連合会への支援は今後も必要である。	教育の充実・発展や家庭の教育力向上のため、ＰＴＡ連合会の活動に対する補助を継続していく。
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－								H25	上記のとおり			
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり															H26	上記のとおり			
9	2-④	開かれた学校づくり推進事業 52224001	教育委員会	学校教育Ｇ	H15	－	ソフト	一般会計	各学校が保護者や地域住民等との信頼にしっかり応えながら、家庭や地域社会と連携協力して、地域全体として子どもたちの成長を支えていくことができるような学校づくりを推進することを目的とする。	H24	小・中学生（学校教育法）、市民	各学校における教育活動などの学校運営の状況について自ら評価を行い、評価結果に基づいて学校運営や指導方法等の改善を図るとともに、評価結果を含め学校の情報を積極的に保護者等へ提供した。また、自己評価だけではなく、学校評議員を設置し外部評価を実施した。 【学校評議員】教育に関する理解と識見を有する者で学校長の推薦を受けた者を教育委員会が委嘱し設置する。学校長の求めに応じて、学校運営に関しての意見や助言、学校と家庭や地域社会の連携の促進等を行う。	登別市立学校管理規則、登別市立学校学校評議員設置要綱	評議員会（運営協議会）開催回数	回	30	32	32	32	32	32	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合 計	 0 0	 0 0	 600 600	 1,300 1,300	 1,300 1,300	 1,300 1,300	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業の実施により、保護者・地域住民の意見が反映され、地域の信頼にこたえる学校づくりが推進されることから、今後も事業を継続することが相当である。	事業の継続を図り、学校・保護者地域住民との関係性を強めていくことで学校力の向上を図っていく。
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－								H25	小中学校入学時のギャップに対応するため、学校補間の連携、地域の教育力の向上が求められたことから、登別市立学校運営協議会設置要綱の策定に向けて検討を行った。			
										H26	上記のとおり	従来の学校評議員制度から改め、学校運営協議会制度を導入することで、学校・保護者・地域が一体となった、地域と共にある学校づくりを更に推進する。	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、登別市立学校運営協議会設置要綱															H26	登別市立学校運営協議会設置要綱の運用により、学校に対する様々な評価・助言・支援等の取組みが行われるようになった。			
10	3-①	児童生徒遠距離通学費補助金 52231001	教育委員会	学校教育Ｇ	Ｓ51	－	ソフト	一般会計	遠隔地からバス通学する児童生徒の通学費を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。	H24	バス通学児童・生徒	バス通学児童・生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助した。 【補助対象】正規の交通機関があり、これを利用して通学する地域から通学する児童及び生徒であって、３か月定期券代金の１か月所要額が小学生の場合2,700円、中学生の場合5,200円以上となる地域から通学する児童生徒等 【補助実績】 小学校２校（14名）、中学校３校（57名）	登別市遠距離通学児童及び生徒通学費補助金交付要綱	助成人数	人	71	65	120	90	90	90	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合 計	 2,079 2,079	 1,924 1,924	 3,161 3,161	 2,223 2,223	 2,223 2,223	 2,223 2,223	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業の実施により、児童生徒の通学の安全性を確保し、保護者の経済的負担が軽減されることから、今後も事業継続することが相当である。	事業の継続を図り、遠隔地から通学する児童生徒及び保護者の負担の軽減に努めていく。
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【補助実績】 小学校２校（８名）、中学校３校（57名）	上記のとおり															H25	上記のとおり			
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－							H26	上記のとおり			
11	3-①	スクールバス運行事業 52231002	教育委員会	学校教育Ｇ	H10	－	ソフト	一般会計	遠隔地から通学する児童・生徒にスクールバスを運行することにより、児童生徒の身体的負担及び保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	H24	小・中学生（学校教育法）	札内町及び来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ、カルルス地区、上登別地区、登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行した。 【対象者】幌別小学校６名、幌別中学校４名、登別小学校40名		利用人数	人	50	47	52	52	52	52	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合 計	 15,015 15,015	 15,328 15,328	 16,201 16,201	 16,201 16,201	 16,201 16,201	 16,201 16,201	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業は多額の経費を必要とするが、遠隔地から通学する児童生徒の安全の確保及び保護者の経済的負担の軽減することから、今後も事業を継続していくことが相当である。	事業の継続を図り、遠隔地から通学する児童生徒及び保護者の負担の軽減に努めていく。
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【対象者】幌別小学校５名、幌別中学校４名、登別小学校38名																H25	本事業に係る経費や契約手法等の事業内容について、運行本数を精査するとともに、代替案について検討した。			
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 【対象者】幌別小学校５名、幌別中学校４名、登別小学校28名		－	－	－	－	－	－	－							H26	バス運行に係る国の指針による新料金体制を考慮して、運行方法を含め、再度検討する。			
12	3-①	小中学校校舎改修事業 52231009	教育委員会	総務Ｇ（教育）	H19	－	ハード	一般会計	児童生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H24	市内小中学校	小中学校の校舎の老朽化に伴い校舎等の改修を行った。また、中学校便所の大便器を和式から洋式に改修した。 【改修実績】 富岸小学校理科室改修工事、幌別東小学校防火戸改修工事、中学校便所洋式化改修工事（鷲別中・幌別中）、青葉小学校屋外避難階段取替工事	学校教育法	対象小中学校（校舎等改修）	校	3	1	3	1	4	2	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源 合 計	地域の元気臨時交付金 1,631 23,931	2,055 1,057 12,212	 22,300 2,859 10,759	 9,100 10,384 41,084	 7,900 6,687 25,987	 30,700 3,239 12,439	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	老朽化している施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要があることから、今後も事業を継続することが相当と考える。	今後も児童生徒等が安全で安心な学校生活をおくれるよう、教育環境整備を実施していく。
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【改修実績】 緑陽中学校便所洋式化改修工事、青葉小学校給食リフト改修工事	上記のとおり															H25	上記のとおり			
										H26	上記のとおり	小中学校の校舎の老朽化に伴い校舎等の改修を行う。 【改修実施箇所】 幌別中学校屋上防水改修工事、給食リフト改修工事（幌別西小、富岸小）	上記のとおり	対象中学校（便所洋式化）	校	2	1	0	1	1	1							H26	上記のとおり			

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】 名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H27以降】
13	3-①	小学校耐震診断等事業	教育委員会	総務G（教育）	H21	H26	ソフト	一般会計	大型地震の発生に備え、安全・安心な教育環境を整備する事を目的とする。	H24	市内小学校	耐震化優先度調査の結果に沿って、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物の耐震性能を把握するため、耐震診断（２次診断）を行った。 【実績箇所】富岸小学校校舎・屋内運動場（２棟）、登別小学校屋内運動場（１棟）	建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法、学校教育法	診断対象棟数	棟	3	2	7				国庫支出金	社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）	2,270	1,399	3,893				H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	児童が学習する場である学校施設の地震に対する安全確保の推進が図られる。	平成26年度で事業終了。 耐震診断の結果を踏まえ、計画的に耐震改修等を行っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【実施箇所】登別小学校校舎（２棟）	上記のとおり									地方債									H25	上記のとおり			
														—	—	—	—	—	—	—	—	その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 【実施箇所】登別西小学校校舎（５棟）、幌別東小学校校舎（２棟）	上記のとおり									一般財源		4,545	2,801	9,285				H26	上記のとおり			
		52231013																				合 計		6,815	4,200	13,178	0	0	0					
14	3-①	中学校耐震診断等事業	教育委員会	総務G（教育）	H21	H26	ソフト	一般会計	大型地震の発生に備え、安全・安心な教育環境を整備する事を目的とする。	H24	—	—	—	診断対象棟数	棟	0	6	5				国庫支出金	社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）		1,732	2,804				H24以前	—	終了	生徒が学習する場である学校施設の地震に対する安全確保の推進が図られる。	平成26年度で事業終了。 耐震診断の結果を踏まえ、計画的に耐震改修等を行っていく。
																						道支出金													
										H25	市内中学校	耐震化優先度調査の結果に沿って、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物の耐震性能を把握するため、耐震診断（２次診断）を行った。 【実施箇所】登別中学校校舎（６棟）	建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法、学校教育法									地方債									H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														—	—	—	—	—	—	—	—	その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 【実施箇所】幌別中学校校舎（５棟）	上記のとおり									一般財源			4,852	7,791				H26	上記のとおり			
		52231014																				合 計		0	6,584	10,595	0	0	0					
15	3-①	小学校周辺整備事業	教育委員会	総務G（教育）	H4	—	ハード	一般会計	児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H24	市内小学校	小学校の学校敷地内の遊具や舗装、雨水排水、グラウンドの排水等、屋外教育環境の改善を行った。 【改修実績】 幌別西小学校遊具取替工事	学校教育法	対象小学校（改修等）	校	1	1	2	1	1	0	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	老朽化や改善が必要な施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要があることから、今後も事業を継続することが相当と考える。	今後も児童等が安全で安心な学校生活をおくれるよう、教育環境整備を実施していく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【改修実績】 若草小学校遊具取替工事	上記のとおり									地方債				1,700	7,300			H25	上記のとおり			
														—	—	—	—	—	—	—	—	その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 【平成26年度事業】 登別小学校グラウンド排水改修工事 小学校遊具取替工事（青葉小学校）	上記のとおり									一般財源		956	1,229	1,923	6,000	1,300		H26	上記のとおり			
		52231015																				合 計		956	1,229	3,623	13,300	1,300	0					
16	3-①	中学校周辺整備事業	教育委員会	総務G（教育）	H4	—	ハード	一般会計	生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H24	市内中学校	中学校の学校敷地内の遊具や舗装、雨水排水、グラウンドの排水等、屋外教育環境の改善を行った。 【改修実績（平成23年度からの繰越事業）】 ・西陵中学校グラウンド排水改良工事 ・西陵中学校窓用フェンス設置工事	学校教育法	対象中学校（改修等）	校	1	0	1	1	0	0	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	老朽化や改善が必要な施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要があることから、今後も事業を継続することが相当と考える。	今後も、生徒等が安全で安心な学校生活をおくれるよう、教育環境整備を実施していく。
																						道支出金													
										H25	—	—	—									地方債		5,900		3,900	11,200			H25	上記のとおり			
														—	—	—	—	—	—	—	—	その他													
										H26	市内中学校	中学校の学校敷地内の遊具や舗装、雨水排水、グラウンドの排水等、屋外教育環境の改善を行う。 【H26年度事業】 登別中学校グラウンド防球フェンス増設工事	学校教育法									一般財源		1,996		1,425	3,800			H26	上記のとおり			
		52231016																				合 計		7,896	0	5,325	15,000	0	0					
17	3-①	中学校耐震化改修事業	教育委員会	総務G（教育）	H21	—	ハード	一般会計	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする	H24	市内中学校	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため耐震化を実施した。また、老朽化している内外部の改修も併せて実施した。 【耐震補強の進め方】耐震診断（２次診断）→実施設計→耐震補強工事 【改修実績（平成23年度からの繰越事業）】西陵中学校屋内運動場耐震改修工事実施設計委託、西陵中学校屋内運動場地震補強・大規模改造工事、西陵中学校屋内運動場地震補強・大規模改造工事監理委託	学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法	対象中学校（耐震化改修工事・工事管理費）	校	1	0	1	0	0	1	国庫支出金	学校施設環境改善交付金、地域の元気臨時交付金（H25のみ）	10,374	1,764	86,397			31,691	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	耐震化されていない学校施設を計画的に整備する必要があるため、今後も事業を継続することが相当と考える。	大型事業推進プランに基づき、計画的に耐震化事業を進めていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため、耐震改修に係る実施設計を行った。 【事業実績】 鷲別中学校校舎耐震改修実施設計委託	上記のとおり									地方債		39,000	8,400	158,900		10,800	54,600	H25	上記のとおり			
														対象中学校（実施設計）	校	0	1	0	0	1	0	その他													
										H26	上記のとおり	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため耐震化を行う。 また、老朽化している内外部の改修も併せて実施した。 【耐震補強の進め方】耐震診断（２次診断）→実施設計→耐震補強工事 【平成26年度事業（平成25年度からの繰越事業）】鷲別中学校校舎耐震改修工事、鷲別中学校校舎外壁改修等工事、鷲別中学校便所洋式化工事、鷲別中学校校舎耐震改修工事監理委託	上記のとおり									一般財源		7,610	1,050	94		3,657	18,324	H26	上記のとおり			
		52231031																				合 計		56,984	11,214	245,391	0	14,457	104,615					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H27以降】
18	3-①	小学校屋根・外壁改修事業 52231032	教育委員会	総務G（教育）	H12	－	ハード	一般会計	児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H24	市内小学校	老朽化した校舎、屋体の屋根・外壁の塗装や屋根葺き替え等の改修を行った。 【改修実績】 富岸小学校屋上フェンス設置工事、幌別東小学校２棟校舎塗装改修工事、幌別東小学校屋根葺替（第２期）工事	学校教育法	対象小学校（改修等）	校	2	1	0	0	0	0	国庫支出金	地域の元気臨時交付金		6,691					H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	休止	耐震化工事が終了するまでは、耐震改修工事と合わせて行うことから、当面の間、事業を休止する。	計画的に改修を進めるが、必要に応じて耐震化改修事業を併せて事業を行い、学校施設の安全性の確保を図っていく。 平成27年～平成28年度については、青葉小学校及び富岸小学校屋根外壁改修を小学校耐震化改修事業（52231034）で実施していく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【改修実績】 幌別西小学校外壁改修工事、幌別西小学校屋根改修工事	上記のとおり									地方債		12,300	32,000					H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H26	－	－	－									一般財源		143	3,981					H26	上記のとおり			
																						合 計		12,443	42,672	0	0	0	0					
19	3-①	小学校耐震化改修事業 52231034	教育委員会	総務G（教育）	H22	－	ハード	一般会計	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。	H24	市内小学校	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえて、耐震補強などにより学校施設の耐震化等を行った。 【改修実績（平成23年度からの繰越事業）】 ・幌別小学校（屋内運動場耐震改修工事実施設計委託、屋内運動場地震補強・大規模改造工事監理委託、屋内運動場地震補強・大規模改造工事外２工事（電気・機械）） ・富岸小学校（屋内運動場棟耐震改修工事実施設計委託（前払分）） ・鷲別小学校（改築工事基本設計委託、改築工事測量委託、改築工事地質調査委託）	学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法	対象小学校（耐震改修）	校	1	2	0	1	1	0	国庫支出金	学校施設環境改善交付金	42,330	104,852		50,809	35,429		H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	耐震化されていない学校施設を計画的に整備する必要があるため、今後も事業を継続することが相当である。	大型事業推進プランに基づき、計画的に耐震化事業を進めていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【改修実績（平成24年度からの繰越事業）】 ・登別小学校（屋内運動場耐震改修工事実施設計委託、屋内運動場地震補強・大規模改造工事監理委託、屋内運動場地震補強・大規模改造工事外３工事（屋根、電気、機械）） ・富岸小学校（屋内運動場棟耐震改修工事実施設計委託（完成分）、屋内運動場棟地震補強・大規模改造工事監理委託、屋内運動場棟地震補強・大規模改造工事外２工事（電気、機械））	上記のとおり									地方債		71,200	161,900	4,700	60,600	74,100	6,100	H25	上記のとおり			
																						その他													
										H26	上記のとおり	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため、耐震改修に係る実施設計を行う。 【事業内容】 青葉小学校校舎耐震改修工事実施設計委託	上記のとおり	対象小学校（実施設計）	校	1	2	1	1	0	1	一般財源		34,678	263	1,594	20,306	24,733	2,157	H26	上記のとおり			
																						合 計		148,208	267,015	6,294	131,715	134,262	8,257					
20	3-①	鷲別小学校改築事業 52231035	教育委員会	総務G（教育）	H24	－	ハード	一般会計	老朽化した学校施設を改築することにより教育環境の改善、地域コミュニティーの場として活用できるよう整備を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	実施設計進捗率	%		100					国庫支出金	地域の元気臨時交付金（H25のみ）・学校施設環境改善交付金・公立学校整備費国庫負担金		9,671	281,320	152,302	152,302	68,000	H24以前	－	維持	老朽化により学校施設や耐震補強が困難な学校施設を改築する必要があるため、事業を継続することが相当である。	大型事業推進プランに基づき、計画的に改築事業を進めていく。
																						道支出金													
										H25	鷲別小学校	平成24年度に実施した「小学校耐震化改修事業」の結果、危険建物とされたことを踏まえ、校舎と屋内運動場の全面改築を行うとともに、既設建物の解体及びグラウンド等の屋外環境の整備を行う。 ■具体的な耐震化の進め方 【改　築】耐震診断（２次診断）又は耐力度調査→基本設計・現況測量・地質調査→実施設計→改築工事 【平成25年度事業】鷲別小学校改築工事実施設計委託	学校教育法、建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法									地方債			51,700	270,300	480,500	480,500	235,500	H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり ■具体的な耐震化の進め方 【改　築】耐震診断（２次診断）又は耐力度調査→基本設計・現況測量・地質調査→実施設計→改築工事 【平成26年度事業】鷲別小学校屋内運動場改築工事、鷲別小学校プール解体工事、鷲別小学校屋内運動場改築工事監理委託	上記のとおり	当該年度事業達成率	%			100	100	100	100	一般財源			54	69	106,688	106,688	78,500	H26	上記のとおり			
																						合 計		0	61,425	551,689	739,490	739,490	382,000					
21	3-①	小学校暖房設備改修事業 52231036	教育委員会	総務G（教育）	H9	－	ハード	一般会計	暖房能力の低下で支障をきたしている箇所を改修し、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	対象小学校（暖房改修）	校	0	1	0	0	0	0	国庫支出金	地域の元気臨時交付金		1,026					H24以前	－	休止	現状で、全体更新が必要な施設がないことから、事業を休止する。	全体更新が必要な暖房設備がある場合、改修を行い教育環境の維持、向上を図っていく。
																						道支出金													
										H25	市内小学校	小学校の老朽化した暖房設備の改修を行った。 【改修実施箇所】 富岸小学校校舎暖房設備改修工事	学校教育法									地方債			4,600					H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																						その他													
										H26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源			611					H26	－			
																						合 計		0	6,237	0	0	0	0					
22	3-③	登別市特別支援教育振興協議会交流学習事業補助金 52233001	教育委員会	学校教育G	H15	－	ソフト	一般会計	心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。	H24	登別市特別支援教育振興協議会	特別支援教育指導内容の研究及び実践を進めている登別市特別支援教育振興協議会が実施する交流学習事業に対し補助金を交付した。 【交流学習事業の内容】 自己紹介、公共施設の利用の仕方、自然体験、調理学習、ルール理解、公共交通機関の利用法、遊形活動、食事指導等	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	交流学習実施回数	回	7	7	7	7	7	7	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業の実施により、心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	事業の継続を図り、引き続き特別支援教育の充実を図っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり			
																						その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		295	295	295	295	295	295	H26	上記のとおり			
																						合 計		295	295	295	295	295	295					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業の目的
23	3-③	特別支援教育就学奨励費（小学校）【52233002】	教育委員会	学校教育G	S 45	―	ソフト	一般会計	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。
24	3-③	特別支援教育就学奨励費（中学校）【52233003】	教育委員会	学校教育G	S 45	―	ソフト	一般会計	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。
25	3-③	特別支援教育推進経費（小学校）【52233004】	教育委員会	学校教育G	H15	―	ソフト	一般会計	特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。
26	3-③	特別支援教育推進経費（中学校）【52233005】	教育委員会	学校教育G	H15	―	ソフト	一般会計	特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある生徒の自立や社会参加を促進することを目的とする。
27	3-③	言語障害通級指導教室運営経費【52233006】	教育委員会	学校教育G	S 59	―	ソフト	一般会計	言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。

Plan ・ Do ― 事業概要

NO	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
23	H24	特別支援学級に在籍している小学生の保護者	特別支援学級への就学に必要な経費の一部を援助した。 【補助事業内容】 学校給食費、通学に要する交通費（通学費）、交流及び共同学習に要する交通費、就学旅行費、校外活動等参加費、学用品等購入費、新入学児童生徒学用品費等	教育基本法（第４条）、要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱
23	H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
23	H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
24	H24	特別支援学級に在籍している中学生の保護者	特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助した。 【補助事業内容】 学校給食費、通学に要する交通費（通学費）、職場実習に要する交通費（職場実習交通費）、交流及び共同学習に要する交通費、修学旅行費、校外活動等参加費、学用品等購入費、新入学児童・生徒学用品費等	教育基本法（第４条）、要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱
24	H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
24	H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
25	H24	特別支援学級に在籍している小学生	特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援として、学習に必要な備品及び物品を購入した。 【特別支援学級数】７校15学級 【児童数】47人	教育基本法、学校教育法
25	H25	上記のとおり	上記のとおり 【特別支援学級数】７校15学級 【児童数】42人	上記のとおり
25	H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
26	H24	特別支援学級に在籍している中学生	特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援として、学習に必要な備品及び物品を購入した。 【特別支援学級数】４校８学級 【生徒数】18人	教育基本法、学校教育法
26	H25	上記のとおり	上記のとおり 【特別支援学級数】４校９学級 【生徒数】17人	上記のとおり
26	H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
27	H24	幼児・小学生	言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行った。 【通級児童数】幼児部46人、小学部49人　計95人 【指導時間】週当たり１時間児童46人、週当たり２時間児童３人　、週当たり３時間児童０人 ※本事業の実施に係る人件費（幼児部のみ）4,835千円 （財源：市4,835千円） 小学部の人件費は、北海道で負担。（幌別小学校に配置）	学校教育法
27	H25	上記のとおり	上記のとおり 【通級児童数】幼児部47人、小学部52人　計99人 【指導時間】週当たり１時間児童97人、週当たり２時間児童２人　、週当たり３時間児童０人 ※本事業の実施に係る人件費（幼児部のみ）4,931千円 （財源：市　4,931千円） 小学部の人件費は、北海道で負担。（幌別小学校に配置）	上記のとおり
27	H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり

Plan ・ Do ― 事業の成果、目標

NO	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
23	対象人数	人	33	31	31	31	31	31
23	―	―	―	―	―	―	―	―
24	対象人数	人	15	14	14	14	14	14
24	―	―	―	―	―	―	―	―
25	特別支援学級数	学級	15	15	17	17	17	17
25	―	―	―	―	―	―	―	―
26	特別支援学級数	学級	8	9	9	9	9	9
26	―	―	―	―	―	―	―	―
27	通級児童数（小学部）	人	49	52	50	50	50	50
27	通級児童数（幼児部）	人	46	47	50	50	50	50

Plan ・ Do ― 各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
23	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	406	326	752	752	752	752
23	道支出金							
23	地方債							
23	その他							
23	一般財源		632	549	753	753	753	753
23	合計		1,038	875	1,505	1,505	1,505	1,505
24	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	318	253	547	547	547	547
24	道支出金							
24	地方債							
24	その他							
24	一般財源		493	426	547	547	547	547
24	合計		811	679	1,094	1,094	1,094	1,094
25	国庫支出金							
25	道支出金							
25	地方債							
25	その他							
25	一般財源		1,039	1,321	1,418	1,418	1,418	1,418
25	合計		1,039	1,321	1,418	1,418	1,418	1,418
26	国庫支出金							
26	道支出金							
26	地方債							
26	その他							
26	一般財源		513	758	841	841	841	841
26	合計		513	758	841	841	841	841
27	国庫支出金							
27	道支出金							
27	地方債							
27	その他							
27	一般財源		156	144	186	186	186	186
27	合計		156	144	186	186	186	186

Check ・ Action

NO	年度	第２期基本計画第３次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
23	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、保護者の経済的負担を軽減することは、教育基本法第４条（教育の機会均等）に定められていることから、市が主体に行うべき事業である。	今後も、特別支援学級の普及奨励を図るため、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対して、適切な援助をしていく。
23	H25	上記のとおり			
23	H26	上記のとおり			
24	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、保護者の経済的負担を軽減することは、教育基本法第４条（教育の機会均等）に定められていることから、市が主体に行うべき事業である。	今後も、特別支援学級の普及奨励を図るため、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対して、適切な援助をしていく。
24	H25	上記のとおり			
24	H26	上記のとおり			
25	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業は教育の機会均等の理念に基づき、市は教育上必要な支援を講じなければならないことから、事業を実施する必要がある。	今後とも児童の状況に即した教育環境を更に整備し、特別支援教育の推進を図っていく。
25	H25	上記のとおり			
25	H26	上記のとおり			
26	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業は教育の機会均等の理念に基づき、市は教育上必要な支援を講じなければならないことから、事業を実施する必要がある。	今後とも生徒の状況に即した教育環境を更に整備し、特別支援教育の推進を図っていく。
26	H25	上記のとおり			
26	H26	上記のとおり			
27	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業は、障がいに応じた特別の指導を行い必要がある児童に対して行われており、市が事業を実施することは妥当である。また、個別指導を通して自立心を養う重要な事業であり、一人ひとりに適合した指導が行えている。	今後も言語治療を必要とする幼児・児童の個別指導への環境を整えながら、言語障がい教育の充実を図っていく。
27	H25	上記のとおり			
27	H26	上記のとおり			

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】								Check				Action
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称		H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
28	3-④	登別市教育研究会運営事業費補助金	教育委員会	学校教育G	S45	―	ソフト	一般会計	教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図り、市全体の教育レベルの向上を図ることを目的とする。	H24	登別市教育研究会	教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るために各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助した。 【教育研究会の活動実績】 ・会員は、事務、養護、進路指導、コンピュータ、特別支援教育、道徳、英語、保健体育、図工・美術、音楽、理科、算数・数学、社会、国語の全14部会のうちいずれかの研究部会に所属し、活動等を実施した。（研究部会の開催（計５回）） ・運営委員会の開催（計５回）	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	研究部会実施回数（１４部会）	回	5	5	5	5	5	5	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業の実施により、教職員の知識、指導力等の資質向上を図ることは、市全体の教育レベルの向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	事業の継続を図り、教職員の知識、指導力等の資質向上を推進していく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり			
														運営委員会	回	5	5	5	5	5	5	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		650	650	600	600	600	600	H26	上記のとおり			
		52234001																				合 計		650	650	600	600	600	600					
29	3-④	教育実践研究奨励事業	教育委員会	学校教育G	S45	―	ソフト	一般会計	実践奨励校での教育実践研究を実施し、その成果を市内小中学校で共有することにより、教育レベルの向上を図ることを目的とする。	H24	教諭	実践奨励校ごとに研究主題に沿った研究を行い、その成果として作成する研究紀要にかかる費用を負担した。 【実践奨励校の事業内容】学校独自又は近隣校と共同で組織的、計画的に研究を実施。（研究の領域・分野は、学習指導、道徳教育、教育課程等17分野で事前に教育委員会から指定を受ける必要がある。） 【実践奨励校：７校】 （新規）登別小学校、富岸小学校、幌別中学校 （継続）幌別小学校、幌別東小学校、青葉小学校、鷲別中学校	登別市教育実践研究奨励校実施要項	実践研究奨励校数	校	7	8	9	9	9	9	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	教職員の資質向上と学校教育の充実を図る上で重要な事業である。	今後も研究結果の発表会など結果の共有化を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実を図る。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	【実践奨励校の事業内容】事業内容は前年度と同様。 【実践奨励校：８校】 （新規）幌別東小学校、鷲別小学校、若草小学校、幌別西小学校、鷲別中学校 （継続）登別小学校、富岸小学校、幌別中学校	上記のとおり								地方債								H25	上記のとおり			
														―	―	―	―	―	―	―	―	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【実践奨励校の事業内容】事業内容は前年度と同様。 【実践奨励校：９校】 （新規）幌別小学校、登別小学校、富岸小学校、幌別中学校 （継続）幌別東小学校、鷲別小学校、若草小学校、幌別西小学校、鷲別中学校	上記のとおり								一般財源		299	428	525	525	525	525	H26	上記のとおり			
		52234002																				合 計		299	428	525	525	525	525					
30	3-⑨	学校図書システム広域化事業	教育委員会	学校教育G	H23	―	ソフト	一般会計	「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として、学校図書システムを共同利用することにより、更新費用等の縮減とセキュリティの強化及び運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。	H24	室蘭市	登別市と室蘭市で共同開発を行った学校図書システムの運用にかかる経費を負担金として室蘭市へ支払った。 ※当該システムは、学校図書館の蔵書管理用システムとして開発しているため、利用者は両市の小中学校の児童生徒となる。市立図書館のシステムとは非連携。		システムの稼働実績日数	日	365	365	365	365	365	365	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業実施にデメリットがなく、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、必要性の高い事業である。また、管理運用面での効率化とセキュリティの強化も図られ、費用対効果が大きい事業である。	今後においても、当該システムを共同利用することにより、運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図る。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり										地方債								H25	上記のとおり			
														システムダウンの回数	回	0	0	0	0	0	0	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり										一般財源		538	771	783	783	783	783	H26	上記のとおり			
		52239001																				合 計		538	771	783	783	783	783					
31	3-⑨	情報教育システム広域化事業	教育委員会	学校教育G	H23	―	ソフト	一般会計	「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として教育情報センター機能を室蘭市に移転・集約し、システムの管理及び運用についての共同化を事業化することにより、運用・更新経費の縮減やセキュリティの強化及びシステム運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。	H24	室蘭市	室蘭市、壮瞥町とともに共同開発した教育情報センターの運用にかかる経費を負担金として室蘭市へ支払った。 ※当該システムは、ＷＥＢ、メール、プロキシ、ファイル等のサーバを統合し、２市１町で共同利用しており、サーバの管理及び運用は室蘭市で実施している。室蘭市にヘルプデスクを開設し、ＩＴの専門知識を有する専任の嘱託員が、各小中学校からの照会や不具合対応に係る業務を行った。		システムの稼働実績日数	日	365	365	365	365	365	365	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業実施によるメリットが大きく、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、必要性の高い事業である。また、管理運用面での効率化とセキュリティ強化も図られ、費用対効果の大きい事業である。	今後においても、当該システムを共同利用することにより、運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図る。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり										地方債								H25	上記のとおり			
														システムダウンの回数	回	0	0	0	0	0	0	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり										一般財源		9,176	7,145	7,370	7,370	7,370	7,370	H26	上記のとおり			
		52239002																				合 計		9,176	7,145	7,370	7,370	7,370	7,370					
32	3-⑨	学校図書館司書配置事業	教育委員会	学校教育G	H25	―	ソフト	一般会計	学校図書館司書を配置することにより、多様な読書活動の企画を行うなど、学校図書館の機能向上を目的とする。	H24	―	―	―	配置校における図書館利用児童数	人	6,646	8,437	9,000	13,000	13,000	13,000	国庫支出金								H24以前	―	拡大	学校司書が、児童の発達段階に応じた本や、児童の想像力を培う本を選定・紹介することにより、より利用しやすい学校図書館の環境を整えることが出来ているなどの成果が上がっていることから、小学校全校を対象とした配置について検討していくことが妥当である。	今後とも、図書の整理・管理等を進めながら図書室の環境を整え、児童の図書への興味関心を増進させるような多様な支援活動等を行っていくとともに、小学校全校を対象とした配置について検討していく。
																						道支出金													
										H25	児童（学校教育法）	学校図書館司書を２名配置し、子どもが利用しやすい学校図書館を実現するための環境整備を図るとともに、子どもの読書活動を推進するための活動として、書籍の展列方法や内容紹介、図書室内のレイアウト変更等の環境整備等を行った。 【配置状況】鷲別小学校、若草小学校、幌別西小学校、青葉小学校に１校あたり週２日配置 ※本事業の実施に係る人件費 628千円（財源：市　628千円）	―								地方債								H25	環境整備等の業務を、専門知識をもった職員が最大限に力を発揮できるよう教育委員会で学校を選定した。			
																						その他													
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	―	貸出冊数	冊	―	7,287	11,000	15,000	15,000	15,000	一般財源			55	50	240	240	240	H26	平成27年度に向けて、小学校全校を対象とした配置について検討していく。			
		52239003																				合 計		0	55	50	240	240	240					

全会計　合計						
国庫支出金	55,698	129,769	375,713	204,410	189,030	100,990
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	150,700	267,700	447,400	590,300	584,700	305,400
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	127,988	90,851	127,713	248,119	240,666	195,245
合計	334,386	488,320	950,826	1,042,829	1,014,396	601,635

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																			Check			Action
								事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】							第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				
													一般会計　合計								国庫支出金	55,698	129,769	375,713	204,410	189,030	100,990				
																					道支出金	0	0	0	0	0	0				
																					地方債	150,700	267,700	447,400	590,300	584,700	305,400				
																					その他	0	0	0	0	0	0				
																					一般財源	127,988	90,851	127,713	248,119	240,666	195,245				
																					合計	334,386	488,320	950,826	1,042,829	1,014,396	601,635				
																					区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				